

学校
通信



延岡市立東小学校
令和2年 10月号
文責：校長 末廣恭雄

「暑さ寒さも彼岸まで」といいますが、朝夕めっきりと涼しくなってきました。日中との気温差もかなりあり体調管理に気をつかう時期でもあります。学校周辺を散策すると、彼岸花を見つけました。時計やカレンダーももたず、毎年必ず決まったこの季節に咲く姿に感動を覚えます。秋です。今年はどんな秋をお過ごしになりますか？



学校通信「つなぐ」をお届けいたします。いつもお読みいただきありがとうございます。

はじめての運動会



10月4日（日）、コロナ禍の中でこれまでにない、はじめての運動会を挙行了しました。3密を避け、消毒や熱中症対策も講じながら、全校児童を2組に分けた走と団技のみの縮小開催でした。幸い天候にも恵まれ、短い時間ではありましたが、これまでの練習の成果を生かし、子どもたちは今表現できる最高の力を発揮できたものと自負しています。

応援においでいただいた保護者やご家族の皆様には、何かとご不便をおかけしたのではないかと存じますが、いかがだったでしょうか。次年度のことはまだ全く未定ですが、今後こうした新しい形での学校行事も検討していかなければなりません。ご意見をお聞かせください。

学校評議員会 ～よろしく願いいたします～

学校の運営状況についてご意見をいただき、課題改善を図る「学校評議員会」を9月28日（月）に開催しました。例年6月に行っていた第1回目の会ですが、今年は9月に延期しました。委員は、

寺田勝彦さん 春田健一さん 後藤延子さん
後藤博文さん 川原陽子さん

の5名の皆さんです。

学校経営説明の後、授業を参観していただきました。協議では、延岡市が進める「コミュニティスクール」という新たな制度の導入（延岡中学校区は2年後に向けた取組）についても、ご意見をうかがいました。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

日本の給食は、単なる食事ではない！



先日、Webニュースを読んでいると、「中国で日本の『小学校の給食』が大きな話題となっている理由」という記事（ダイヤモンド・オンライン2020.9.17）を見かけました。日本の公立小学校での給食の様子を伝える動画が、欧米（とりわけ中国）で驚きと称賛をもって視聴されているというのです。その動画は、準備から後片付けまでを子どもたち自身が清潔な身支度で整然と行うことや教師も一緒に会話しながら食べることで、食材や調理について子どもたちにも伝えられることなど、日本中どこでも当たり前に行われる給食風景です。

しかし、外国の多くはこれとは全く違う「昼食」（食堂で食べたいものを好きなだけ、嫌いなものは残して捨てる。片付けるのは清掃員）であり、食への感謝の心も食自体の価値にも気付かないというのです。世界中の多様な文化に驚かされることはよくありますが、食もまたその一つのようなのです。30年ほど前に勤めた日本人学校でも、給食の実施について大いに議論されたことを思い出しました。動画を視聴した中国の方の感想には、子どもたちの協調性やマナーのよさが印象的だったことや給食時間そのものが一つの授業であるというものがありました。これぞ正に「食育」です。

当たり前を見直し、子どもたちのために必要な力を身に付けられるよう、全職員で共有した話題です。ちなみに動画のタイトルは、「School Lunch in Japan - It's Not Just About Eating!」です。

行事予定

11月

- | | |
|--------|----------------------------|
| 1日（日） | 修学旅行（6年）～2日
宿泊学習（5年）～2日 |
| 4日（水） | 振替休業（1日分） |
| 6日（金） | 公園見学（1年） |
| 18日（水） | 就学時健診（新入児） |
| 27日（金） | ボランティア感謝集会 |

明日の千カラ

どんなに賢くても、にんげん自分の背中を見ることはできない

山本周五郎（小説家）

ホームページをご覧ください

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1709/htdocs/>

または

延岡市立東小学校

で

検索

